記者発表資料

平成２８年　３月１１日
東 北 地 方 整 備 局
浅 瀬 石 川 ダ ム 管 理 所

沖浦ダム『71年目の健康診断』

浅瀬石川ダムでは、平成28年度に完成から71年を経過した
沖浦ダムの健康診断を行います。

浅瀬石川ダム上流の沖浦ダムは、昭和11年(1936年)に日本初の多目的ダムとして青森県により建設に着手され、昭和20年3月31日に完成しました。

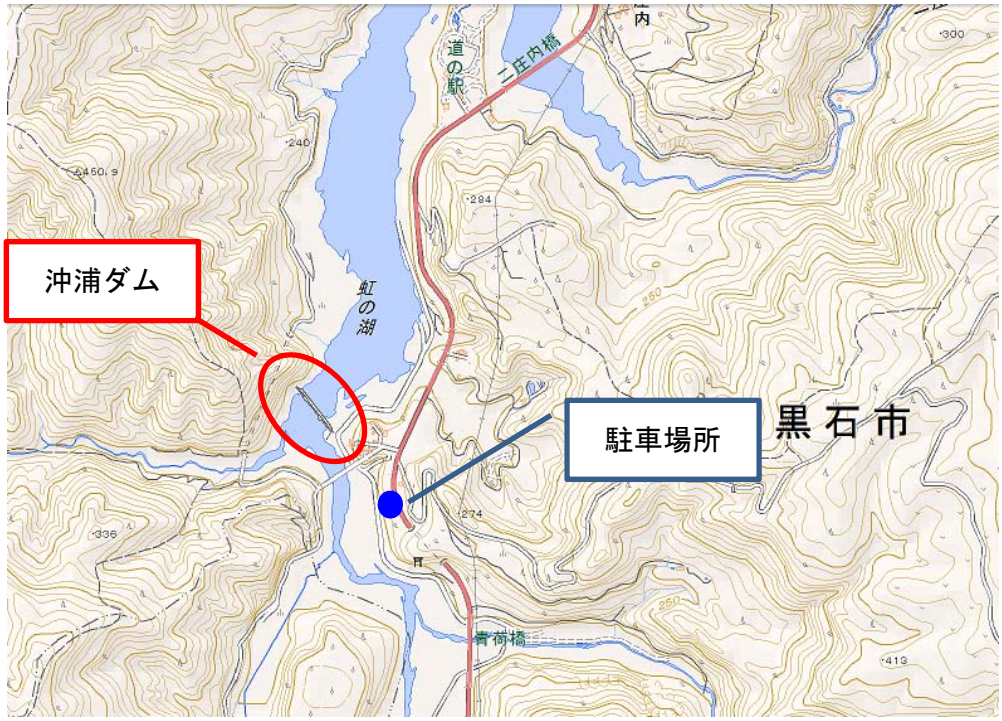
完成から71年となる沖浦ダムですが、本体建設に着手して80年を迎えます。沖浦ダムは、戦前から戦中における日本の大規模土木工構造物の建設技術を知る上で非常に貴重な遺産と言えます。
そこで、浅瀬石川ダム管理所は、東北技術事務所と合同により沖浦ダムの健康診断を行います。

平成28年度からの本格調査に先立ち、下記日程で事前に**現地において合同の確認調査**を行いますので、お知らせ致します。

日　時：平成２８年３月１５日（火）１０：００～
　　９：１５～　事前打合せ（浅瀬石川ダム管理所）
　　９：４５～　沖浦ダム移動
場　所：沖浦ダム（別添図参照）

<<※発表記者会等　弘前記者会、黒石記者クラブ、津軽新報社>

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　浅瀬石川ダム管理所
管 理 所 長　　高橋（たかはし）　忠良（ただよし）
管 理 係 長　　古川（こがわ）　政博（まさひろ）
電話：0172-54-8782　Fax：0172-54-8785



出典：国土地理院ウェブサイト(http://maps.gsi.go.jp/)



沖浦ダム全景：平成２８年３月９日撮影

←コンクリート表面には劣化がみられる

『沖浦ダム健康診断』　浅瀬石川ダム

沖浦ダム：青森県　目的：洪水調節・灌漑・発電　型式：直線越流型コンクリート重力式ダム

◆昭和11年(1936)11月から本体コンクリート打設を開始した日本初の多目的ダム
昭和8年（1933年） 12月着手、昭和20年3月31日完成

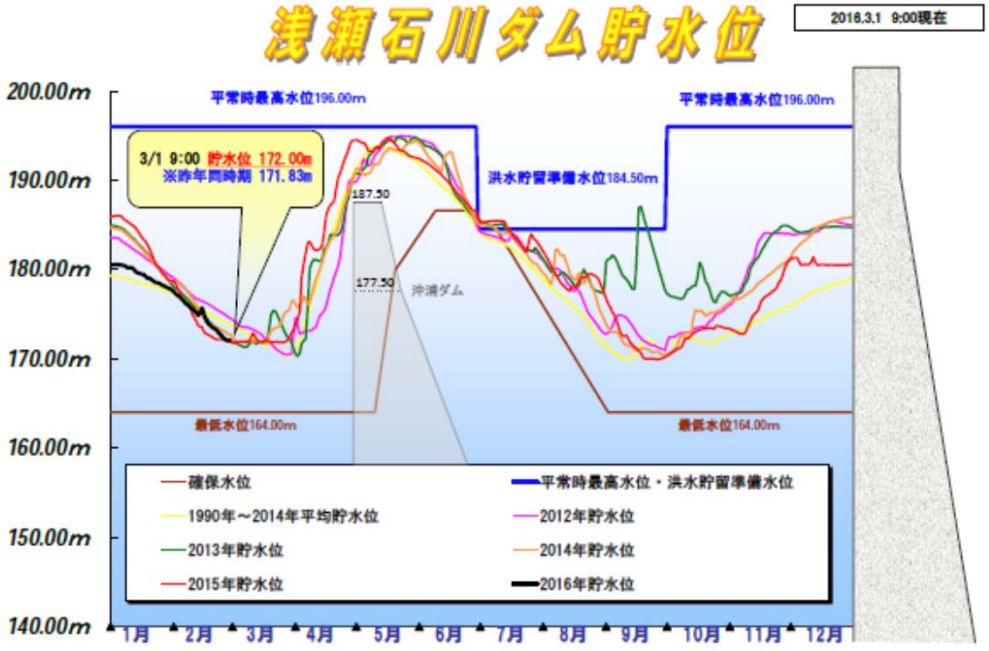
◆完成から71年(H28.3時点)経過し、当時の土木技術を知る上で貴重な遺産
物資の供給の厳しい時代に技術力を発揮し、内部・外部コンクリート打設

本体建設着手から
80年

◆平成28年3月15日から東北技術事務所と連携し調査開始。
貯水位低下を確認（平成28年9月頃）し、コアリング、
各種試験後、試料については、資料館等へ展示予定。

内部は粗石コンクリート、外部は1:3:6として側壁、基礎根入等
重要な部分は1:2:4コンクリートを用いた。
沖浦ダム(我が国最初の多目的ダム)－沖浦ダム関連資料集－から抜粋







コンクリート打設状況(岩塊を入れて粗石コンクリートとしている)(昭和11年10月29日)

